

# 平成29年度 青少年問題を考える地域懇話会

当協会では市町村民会議の活動を支援するため、地域の青少年問題について、有識者と地域の活動指導者が意見交換等を行う「青少年問題を考える地域懇話会」を開催しています。29年度は、乙部町（7月）、釧路町（11月）で開催する予定であり、今回、乙部町で開催したため、ご報告します。

## 【乙部町】テーマ「子どもたちを取り巻く現況と地域のかかわりについて」 ～地域で大人が何をすべきか～

●日時 平成29年度7月6日（木）

●共催 乙部町青少年健全育成懇談会、乙部町教育委員会

●話題提供・助言者

「地域と子どもたちと、未来のために～私たちができること～」

函館市地域交流まちづくりセンター長 丸藤 競 氏

●コーディネーター

檜山教育局教育支援課社会教育指導班主査 松浦 賢一 氏

●概 要

話題提供では、どの町でも高齢化、少子化の問題がある。より良い町づくりのためには、「こうなればいいという未来をえがく」、「社会参加しやすい雰囲気づくり」の二刀流でいくことが大切。今の若者は、「自分のためより、誰かのため」という意識をもっており、これからの時代にふさわしい社会の仕組みをデザインしていく能力が期待できる。だからこそ、若者や地域の人が活躍できるよう、地域の中で生き心地がよい町をつくり、「夢を共有」し、「地域のために本当に必要なことを実現する」ために全力をつくす。時間はかかるが、未来志向でピックアップチャーを描くことが大切だというお話がありました。

意見交流では、参加者が6つのグループに分かれ、「今、子どもたちのために、地域で大人は何をすべきか」というテーマで意見交流をしました。

各グループからは、若者が少ない、老人が多いという地域の現状はあるが、地域ぐるみで挨拶のできる子どもを育てたい、人との出会いに感動する体験、自分の知らない世界に出会えて感謝する体験、子どもたちと交流の場を多くつくる、子どもたちに声かけをする、地域の運動会や田植えなど、お年寄りとの交流の場をつくることで地域の人との関係を深めるなどの意見が出されました。参加者から、「普段、話しができない方と話せてよかった」という感想もありました。

丸藤氏からは、「大切なのは、こうした意見を交流する場をつくること。その中で、小さな頃から地域でいろんな体験ができる感性を育てる、小さなことや出来ることから始めることが大切。また、出会い・話すことでアイデアが出たら、さらに大切なことは、『発信すること』。それが新たな出会いにつながり、新しいアイデアが生まれ、そしてまた発信をする。このサイクルが地域の中でできれば、地域は一步前に進み、素晴らしい未来の地域づくりにつながる」という助言がありました。

